

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【公開番号】特開2016-99083(P2016-99083A)

【公開日】平成28年5月30日(2016.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2016-033

【出願番号】特願2014-237920(P2014-237920)

【国際特許分類】

F 2 4 F 1/32 (2011.01)

【F I】

F 2 4 F 1/32

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月27日(2016.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明に係る空気調和機の室外機は、圧縮機が配置された機械室を有し、機械室には少なくとも 2 つの冷媒回路部品が更に配置された空気調和機の室外機において、冷媒回路部品のいずれか一方に弾性爪を設けるとともに、冷媒回路部品の他方に弾性爪に係合できる引っ掛け部を設け、弾性爪と引っ掛け部とによって冷媒回路部品相互を密着させるものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

圧縮機が配置された機械室を有し、該機械室には少なくとも 2 つの冷媒回路部品が更に配置された空気調和機の室外機において、

前記冷媒回路部品のいずれか一方に弾性爪を設けるとともに、前記冷媒回路部品の他方に前記弾性爪に係合できる引っ掛け部を設け、

前記弾性爪と前記引っ掛け部とによって前記冷媒回路部品相互を密着させることを特徴とする空気調和機の室外機。

【請求項 2】

前記弾性爪は、

外向きに延出する基部と、

該基部の先端から下向きに延出する係止部と、

該係止部の下端から外向きに傾斜するガイド部とを有し、

前記引っ掛け部への差し込み時には、前記ガイド部が前記引っ掛け部のエッジに当接して摺動することで、前記係止部を撓ませて蓄勢し、前記冷媒回路部品相互を引き付ける方向に付勢して密着させることを特徴とする請求項 1 記載の空気調和機の室外機。

【請求項 3】

前記引っ掛け部の前記弾性爪が接触する面には、ゴム部品が取り付けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の空気調和機の室外機。

【請求項 4】

前記冷媒回路部品は、前記弾性爪と前記引っ掛け部とによって仮固定され、ねじによって前記機械室の底面板上に本固定されることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の空気調和機の室外機。

【請求項 5】

前記冷媒回路部品は、アキュムレーターと内外配管接続部品であることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の空気調和機の室外機。